



「北上川における水災害について」

開催概要

- 開催日時 令和6年11月29日(金) 10:30~11:30
- 開催場所 北上川学習交流館「あいぽーと」(一関市狐禅寺)
- 参加者 一関西消防署、自主防災組織の代表 58名
- 講座目的 自然災害への関心と知識を深める

実施内容

今回の出前講座は、一関地域自主防災組織連絡協議会・第2回研修会の一環として、当事務所職員が講師として出前講座を行いました。

まず最初に北上川の特徴を紹介し、過去に一関市内を襲った災害を振り返りながら国土交通省が進めてきた一関遊水地事業をはじめとする河川整備事業とその被害軽減効果について紹介しました。

次に近年の気候変動を踏まえた水災害対策として現在国土交通省が進めている「流域治水」について動画を活用しながら説明し、洪水に備えるため河川情報の入手の仕方や基準水位の考え方について説明しました。また、当事務所ホームページに掲載している「洪水氾濫シミュレーション」を紹介し、洪水時に一関市内が浸水する様子を見ていただきました。

参加者からは「一関市内の浸水深は堤防が出来た事で見直すことはあるか」や「市内あちこにあるカスリン・アイオン台風の災害伝承碑が壊れている。修理して欲しい」等の質問・意見が出され、水害への関心の高さを感じました。今回の出前講座が、参加者の皆様の一助となれば幸いです。

実施状況



講義の様子



会場の様子